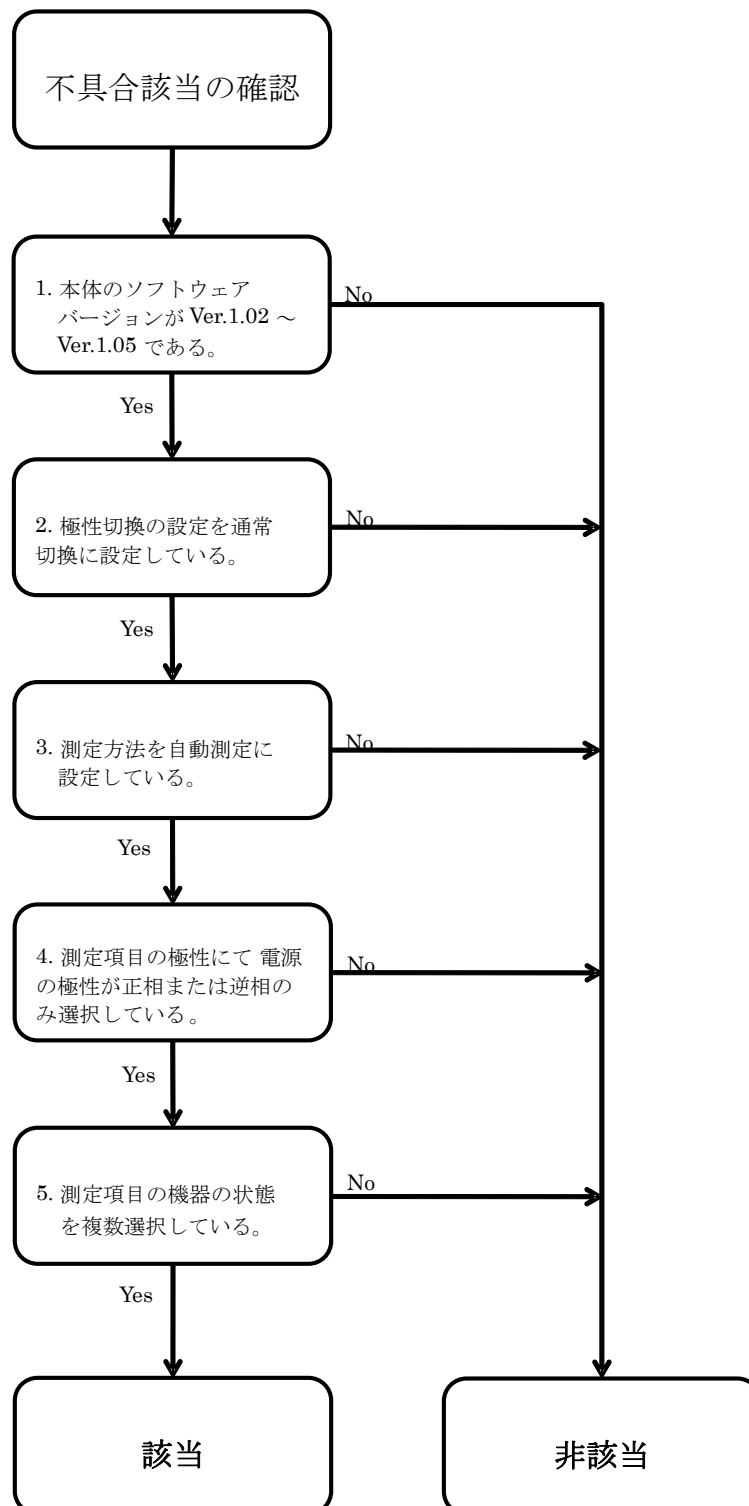


(別紙)

以下のフローチャートに従い、不具合の該当確認をお願いいたします。

非該当の場合、測定値および判定結果に問題はありません。



＜実機確認方法詳細＞ 下記項目 No.は、フローチャートの No.と合わせています。

1. 本体のソフトウェアバージョンが Ver.1.02～Ver.1.05 である。

ST5540,ST5541 の電源を立ち上げ、オープニング画面を確認する。(下記点線部分)

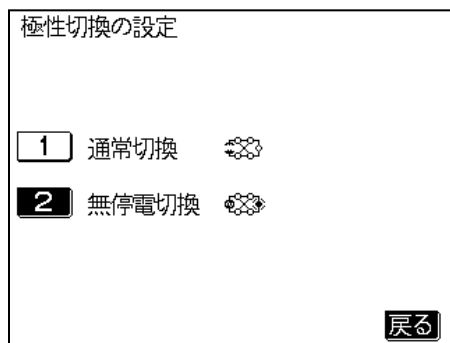


(オープニング画面)

2. 極性切換の設定を通常切換に設定している。

システム画面の 2/2p にある“極性切換”を選択し確認する。

※下図は通常切換に設定されている状態

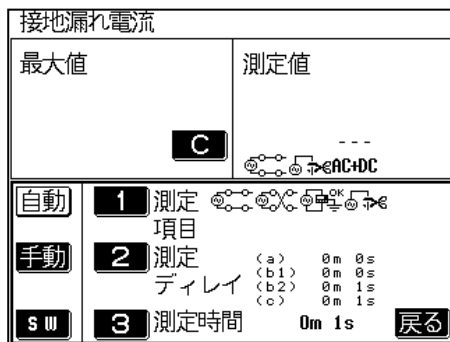


(極性切換の設定画面)

3. 測定方法を自動測定に設定している。

各漏れ電流試験の画面にて確認する。

※下図は接地漏れ電流の画面で自動測定に設定されている状態



(自動測定の設定画面)

4. 測定項目の極性にて電源の極性が正相または逆相のみの設定をしている。

自動測定の設定画面から 1. 測定項目を選択すると下図が表示されます。

※下図は極性が正相または逆相のみに設定されている状態（極性のどちらかが OFF）

測定項目

極性

ON OFF

機器の状態

ON ON

戻る

（正相のみ設定）

測定項目

極性

OFF ON

機器の状態

ON ON

戻る

（逆相のみ設定）

IEC60601-1 Ed. 3. 0: 2005およびJIS T 0601-1:2012やIEC60990では極性を切り換えて試験を実施するように指示されています。

5. 測定項目の機器の状態を、複数選択（2 つ以上 ON に設定）している。

※下図は正常状態と電源故障が ON に設定されている状態

測定項目

極性

ON OFF

機器の状態

ON ON

戻る

（自動測定の測定項目画面）

以上